

審議第 2 号 直行坂東号の中間評価について

1 直行坂東号の経過について

東京圏への交通便利性向上による転出抑制及び定住促進を図ることを目的として、つくばエクスプレス守谷駅と本市を結ぶ通勤・通学者向けの直行型路線バス「直行坂東号」を運行している。本事業は、国の『まち・ひと・しごと創生総合戦略』（平成 26 年 12 月閣議決定）に関する交付金事業として、平成 28 年 3 月から平成 31 年 3 月末までの社会実験（平日計 6 便／日）で得られた実績等を踏まえ、今年度から、平日計 3 便／日を運行している。次年度の運行については、本会議において、年度途中の中間評価を行い、協議することとしている。

年度	月	経 過
H27 年度	3	<p>H28.3.4（金）直行坂東号開通式 H28.3.7（月）運行開始</p> <p>●停留所 ①岩井バスターミナル ②岩井局前 ③原口 ④辺田三差路 ⑤神田山 ⑥守谷駅西口</p> <p>●運行時刻 【往路】岩井 BT⇒守谷駅（2 便） 岩井 BT 発 6:00・6:30 【復路】守谷駅⇒岩井 BT（4 便） 守谷駅西口発 17:30・19:00・20:00・21:00</p> <p>●運賃 ・岩井 BT・岩井局前～守谷駅西口 720 円 ・原口・辺田三差路・神田山～守谷駅西口 620 円 ※既存の路線バス「急行坂東号」と同じ運賃体系 ※こども運賃半額</p> <p>●運行日…平日のみ（祝日を除く）</p>
H28 年度	10～ 11	アンケートの実施（ホームページ・車内乗込み調査）
H29 年度	9	<p>ダイヤ改正（H29.8 交通会議承認） 最終時刻の繰下げ・停留所の追加（本町・辺田香取神社前）等</p> <p>●停留所 ①岩井バスターミナル ②本町 ③岩井局前 ④原口 ⑤辺田香取神社前 ⑥辺田三差路 ⑦神田山 ⑧守谷駅西口</p> <p>●運行時刻 【往路】岩井 BT⇒守谷駅（2 便） 岩井 BT 発 6:00・6:45</p>

		【復路】守谷駅⇒岩井 BT (4 便) 守谷駅西口発 17:15・19:45・20:45・21:45
H30 年度	3 末	社会実験終了
H31 年度	4	ダイヤ改正 (6 便→3 便に減便) (H30.10 交通会議保留、H30.12 交通会議承認) ・目標値の設定 1 便あたり平均利用者数 2.5 人 (H29) ⇒ 3 人以上 (H31) ●停留所 ①岩井バスターミナル ②本町 ③岩井局前 ④原口 ⑤辺田香取神社前 ⑥辺田三差路 ⑦神田山 ⑧守谷駅西口 ●運行時刻 【往路】岩井 BT⇒守谷駅 (1 便) 岩井 BT 発 6:45 【復路】守谷駅⇒岩井 BT (2 便) 守谷駅西口発 19:00・20:45
	10	消費税率引上げに伴う運賃改定 (R1.7 交通会議承認) ●運賃 現金 (IC 運賃) ・岩井 BT・岩井局前～守谷駅西口 740 円 (734 円) ・原口・辺田三差路・神田山～守谷駅西口 630 円 (629 円) ※既存の路線バス「急行坂東号」と同じ運賃体系 ※こども運賃半額

<運行経費・利用状況>

年度	経費				利用状況	
	合計 (千円)	市負担 (千円)	交付金 (千円)	円/便	合計 (人)	人/便
H27	1,580	1,580	0	14,624	137	1.3
H28	18,834	0	18,834	13,079	2,844	2.0
H29	19,309	11,197	8,112	13,353	3,549	2.5
H30	19,750	9,875	9,875	13,715	3,291	2.3

※平成28年3月7日から運行開始

2 今年度の状況について

R1 年度 契約額 10,998,100 円から運賃収入分を減額して支払い。

利用状況 (4 月から 9 月) 延べ 907 人 2.6 人/便

内訳: 岩井 BT⇒守谷駅 4.4 人/便 守谷駅⇒岩井 BT 1.7 人/便

中間評価

- ・現時点では、1便あたり2.6人であるが、昨年度の2.3人からわずかに伸びている。朝の守谷駅行きの便に関しては、目標値の3人に達している。

3 令和2年度の運行（案）について

直行坂東号の令和2年度の運行について、現在の運行内容を継続する。

朝の守谷駅行きの利用者が定着してきていることや、交通利便性の低下による転出増加を避けるため、現在の運行内容を継続する。

4 運行の見直し・利用促進策について

- 坂東市地域公共交通網形成計画（策定中）に基づく事業を予定
- 他市との広域連携の検討
- 直行坂東号を含め、公共交通の利用促進のためのPR・啓発活動を行う。
 - ・広報坂東（お知らせ版）掲載
 - ・市ホームページ掲載
 - ・PRチラシの作成・配布（イベント・公共施設パンフレットラック等）
 - ・ポスターの作成・掲示（公共施設等）
 - ・バスの乗り方教室の実施 等

5 直行坂東号の効果検証体制について

PDCA（計画→実行→評価→見直し）サイクルにより、毎年度、事業の効果検証（10月に中間評価）を本会議において行う。

<目標値の設定>

1便あたり平均利用者数 2.3人（H30）⇒3人以上（R2）